

HIDAMON Vol.1

～飛騨の隠れた魅力を発掘～



この人にインタビュー!

FabCafe Hida
堀之内 里奈さん



▲築100年以上の古民家を改装。蔵エリアは江戸時代から続くというから驚きだ



▲カフェスペースには中庭があり、お子様を遊ばせてつろぐこともできる



▲珈琲やスイーツ片手につろぐのもよし、家族でモノづくりもよし

第1回は、式之町の FabCafe Hida をご紹介。FabCafe Hida は、カフェ・ゲストハウス・モノづくりが融合した場所。よく、わかりにくいし、入りにくいと言われるのですが、うちには意外といろんな人が集るんです」堀之内さんは語る。ここは、赤ちゃん連れのママがくつろいでいたり、パソコンで仕事をしている若者がいたり、珈琲を飲み立ち寄った男性がいたり、はたまた、木工作家さんが作業をしていたりと、本当に多様な人が集っている。

ここでは初心者の方でも気軽に木工体験が出来る。ここで使っている木は、飛騨の広葉樹の中でも、細くて製品化が難しく捨てられてしまいがちな木材です。そういった木からできた木工キットで、オリジナルのお箸などを作ることが出来ます。県外からのお客様も多く、地元の人たちには当たり前ですが、職人さんの存在がこんなに喜ばれるとは驚きですね」地元の職人のサポートの元、本格的な木工も可能で、ウエディンググッズなどの製作のため、遠方から滞在製作のお客様も珍しくありません。

「今、私は飛騨のお店とコラボし、色々な木工キットを開発しています。最近人気が出て来たのは、アイススプーン作りキット(1,000円)。こちらは、紙ヤスリだけで削っていくので、小さなお子様連れでも安心して体験してもらえます。この体験から、まず飛騨の木や森を身近に感じてもらえると嬉しいですね」30分程度が目安となる体験ですが、凝り始めると2時間削り続ける方もいるという。体験の後は、自分の作ったスプーンで『牧成舎』のアイスを食べることもできる。「つくることが食べることへ繋がるのも魅力の一つです。いろんな人やものが繋がるこの場所へ、ぜひ気軽に来てみてほしい」と、堀之内さんは語る。



▲初心者の方にお勧めの飛騨の広葉樹アイスクリームスプーンづくり。市外の方なら5,000円を飛騨市にふるさと納税すれば体験できる。寄付していただいた方にチケットをお送りし、ご都合の良いタイミングで、予約していただく。



▲様々なコラボで新たなキットが開発されている。『MOTHER'S HOUSE』とコラボした『ベーグル専用スプーン』や、広島焼き『えん』とコラボした『お好み焼き用のへら』が最新作。

人口の動き (11月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
11,754	12,588	24,342	8,894
出生	9	転入	28
死亡	40	転出	29

消防の状況 (10月31日現在)

	火災	救急
飛騨市	10	954
その他 (管外出動)	1	2
前月比	1	87

交通事故の状況 (10月31日現在)

	人身交通事故		物損 交通事故
	件数	死者 傷者	
本年累計	25	0 48	426
昨年同期	16	4 24	446
増減	9	-4 24	-38



●発行/平成30年11月16日 飛騨市役所 ●編集/企画部 秘書広報課 ●印刷/有限会社村坂印刷

〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2番22号

☎(0577) 73-2111

🌐http://www.city.hida.gifu.jp/